

### 第3回豊橋市立特別支援学校整備連絡協議会会議録要旨

1 開催日時 平成24年3月26日(月)午後1時30分～午後3時30分

2 開催場所 豊橋市役所 東121会議室

3 出席者 委員 鹿取健司、上田裕、恩田やす恵、  
鈴木清貴(代理出席：宮瀬光博 蒲郡市教育委員会庶務課長補佐)、  
山本五夫、白井英俊(代理出席：宮川裕之 健康福祉部福祉課長)、  
花井君枝(代理出席：小久保悦子 手をつなぐ育成会副会長)、  
山寄博充、黒柳哲禎、村田勇一郎、荒木登喜子、  
村松伸郎、増田隆雄、戸田守彦 ※敬称略

事務局 加藤喜康(教育政策課長)、鈴木優一(建築課長)、  
村田敬三(教育政策課主幹)、柴田祥宏(教育政策課指導主事)、  
山本誠二(教育政策課主査)、浅倉淳志(教育政策課主査)、  
加藤宣隆(建築課主査)、峰野勝久(教育政策課)

設計業者 (株式会社 佐藤総合計画)横田三二、井下仁史、榎並靖、前田英男

欠席者 舎人登志雄 ※敬称略

#### 4 議 事

(進行：事務局 教育政策課長)

##### ・経過報告並びに基本計画・設計策定スケジュール等について

- (1) 第2回豊橋市立特別支援学校整備連絡協議会(H23.11.29)会議録要旨について説明
- (2) 機能構築のイメージ及び基本計画・設計策定スケジュールの説明
- (3) 場所及び敷地面積について説明

##### ・基本設計業者による提案

- (1) (株)佐藤総合計画によるプレゼンテーション

【計画概要、ゾーニング比較検討(案)、想定諸室・規模の設定(案)】

- (2) 質疑等

<委員>

日照、騒音、グラウンドからの砂など、近隣への影響について配慮をお願いしたい。また、北側にある保育園について、車の送迎で学校敷地を暗黙のうちに使っている現状がある。建設後、今以上に車が込み合うことが考えられる。

<委員>

職員用の駐車場について、県内の特別支援学校では敷地内に駐車場がなく、近隣の有料駐車場を使っている学校もある。

<教育政策課長>

職員用駐車場については、子どもたちに必要な教育環境を優先的に考えながら、敷地を有効に使うことを考えたい。

<建築課長>

今回は大まかなゾーンごとの配置案であり、今後内容を話し合う中で、具体的なかたちになっていく。

<委員>

給食について、共同調理場で特別支援学校での児童生徒にあった形で対応可能なのか、規模の設定にかかわることであるため、早急に確認したほうがよい。

<委員>

地域連携施設・地域開放施設とあるが、地域連携とはどういうイメージか。養護学校ではこれまではあまりイメージが無いが。

<設計業者>

地域開放については、土日や使っていない時間などに地域や団体の方に施設を利用させていただくことをイメージしている。

地域連携については、例えば多目的スペースや職業訓練室などで、地域や産業と連携しながら、具体的な就職先のイメージを持った部屋のつくりこみであるとか、講師を招いて利用する場面もあるのではないかと考えている。

<委員>

地元の人たちは、現在この旧野依小体育館はバレーボール、運動場もグランドゴルフなどで連日利用している。建設後もこれまでのように使わせてもらえるという認識でいる。

<教育政策課長>

今回はたたき台であるので、今後進めていく中で、気をつける点や疑問点など事務局へ言っていたきたい。

### (3) 今後の意見集約方法についての説明

<教育政策課主幹>

豊川養護学校や、各関係団体へ個別に直接伺って、ご意見をいただきたい。時期は4月を考えている。

<委員>

地元で豊川養護学校へ見学に行きたいと言う意見があるので、ぜひお願いしたい。

<教育政策課長>

機会を設定し、私たちも同行したいと考えている。

## ・高等部の入学者について

<教育政策課長>

「基本的な考え方」の中にあるように、豊橋市立特別支援学校の規模は、県立豊川養護学校との2校で東三河の児童生徒を受け入れるということで、小中学部は豊橋市・田原市の児童生徒が通学し、高等部については豊橋市・田原市の生徒の一部が通学するなど弾力的な運用を検討するとしている。現在高等部の振り分けを検討しているところであるが、皆さんの意見を伺いたい。

<委員>

例えば田原市で、小中学校は地元の学級に在籍し、高等部から豊橋市立へ行くことはできるのか。

<教育政策課長>

そのあたりも含め、現在検討中である。

<委員>

高等部については何らかの基準で分けなければならない。例えば障害の程度で分ける方法。もしくは通学区域を作って分ける方法などが考えられる。愛知県では現在それぞれの観点から検討中であり、豊川養護学校の来年度の人数、近年の増加の割合、豊橋市・田原市の特別支援学級の人数なども関係してくると考えられるので、これらの数字を見みながら検討しているところである。

<委員>

中学まで地域の学校にいて、高校から一般の県立高校へ行くことは困難な現実があり、特別支援学校の高等部へ通わせたいというニーズがある。また現状田原市からは豊川まで遠いため、豊橋養護学校へ通っている子もいる。最近の総合特別支援学校という考えもある中で、障害種別にとらわれず、選択肢を広げるという意味でも豊橋養護学校や豊橋豊学校の中に高等部をつくることも考えてほしい。27年度には間に合わないかもしれないが、この機会に検討することもいいのでは。

<委員>

現状愛知県としては肢体や、ろう学校、盲学校など、専門性を重視し、主な障害種別ごとに分けており、総合養護学校をとすることは現状では考えていない。また選択肢について、この地域の知的障害養護学校としては、豊川養護学校、本宮校舎、豊田高等養護学校等のほか、今回の市立特別支援学校と、比較的選択肢があると考えている。ただし、高等部の問題は検討課題と認識している。

<教育政策課長>

この高等部の運用の仕方については、来月の協議会では一定の方向性を示したいと考えているので、その都度ご意見ありましたらお願いしたいと思います。

#### ・新年度の整備連絡協議会について

- (1) 今後のスケジュールについて説明
- (2) その他

次回会議日：平成24年4月27日（金）